

1 交付金事業の名称

大型再処理施設放射能影響調査事業

2 交付金事業の事業主体

青森県

3 交付金事業の実施場所

青森県（青森県青森市長島一丁目 1-1）

公益財団法人環境科学技術研究所 本所（青森県上北郡六ヶ所村尾駁家ノ前 1-7）

公益財団法人環境科学技術研究所 先端分子生物科学研究センター（青森県上北郡六ヶ所村鷹架発茶沢 2-121）

公益財団法人日本海洋科学振興財団 むつ海洋研究所（青森県むつ市港町 4-24）

4 交付金事業の概要

大型再処理施設からの排出放射性物質による周辺地域への影響調査、及び当該調査に係る施設整備・運営等を実施した。

5 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

交付金事業に要した経費 2, 911, 294, 363円

交付金充当額 2, 911, 294, 363円

6 交付金事業の成果及び評価

大型再処理施設放射能影響調査事業については、地域住民等の安全・安心の確保に資するため、大型再処理施設から排出される放射性物質による当該大型再処理施設の周辺の環境における影響に関する継続的・計画的な4項目にわたる13件の調査研究等を実施し、大型再処理施設放射能影響調査事業企画評価委員会において、下記のコメントを付して全てA評価を受けたことから、目標値100%の成果が得られたと評価できる。

①環境影響に関する調査研究（海域部分を除く）

環境中の放射性同位体の移行調査や住民被ばく線量評価に係る研究が着実に進められており、計画に基づき遅滞なく進められ着実に成果が上がっている。今後は、非常に貴重な調査である安定同位体を用いた人体内代謝実験等、各々の研究の更なる深化を期待するとともに、使用済燃料ガラス固化体事業の再稼働を目前にしているため、引き続きしっかりとした調査を期待する。

また、これらの成果については、広報対象に応じた適切かつわかりやすく広報することを期待する。

②環境影響に関する調査研究（海域部分）

水温、塩分濃度などの物理・科学的な計測が継続して行われており、計画に基づき、評価モデルの精密化等、成果が上がっている。引き続き、モデルの検証、測定地点の最適化などが進められることを期待する。

また、これらの成果については、広報対象に応じた適切かつわかりやすく広報することを期待する。

③生物影響に関する調査研究

低線量の影響について、様々な生理学的エンドポイントで解析が計画に基づき進められている。このような調査は長期にわたる他に類を見ない貴重な研究であり、今後とも計画にのっとり着実に進めることを期待する。また、これらの成果については、県民、国民はもとより、国外に対しても積極的に発信することを期待する。

④小児がん等がん調査事業

平成12年からの長期にわたる地道なデータの蓄積により、大変貴重なデータが着実に蓄積されている。福島原発第一原子力発電所事故の調査との連携も含め、今後とも調査の継続を期待する。

これらの結果については、生存率の推移や治療方法などがん治療の実態、早期発見のための方策など、がんに関する総合的な広報を行うことにより、住民の安心に寄与できるものとする。